

2023年度  
一般推薦入試  
(経営学部 経営学科)  
小論文(100点・90分)

資料1および2を読んで、以下の問題に答えなさい。

問題1. エシカル消費に関心が寄せられている理由とその背景について、  
【資料1】を参考にしながら、400字以上500字以内で考察しなさい。

問題2. 企業はエシカル消費を拡大していくために、どのような対応が求められますか。【資料2】の消費者に対するアンケート調査の結果も参考にしながら、自分の意見を含めて、400字以上500字以内で具体的に論じなさい。

【資料1】

わたしたちは、生きていくために、さまざまなものを使っています。食べもの、服、道具、家、エネルギーなど、これらのものを手に入れ、使っています。さまざまなものを使い、なくすことを「消費」といいます。

わたしたちの「消費」はさまざまなものにつながっています。そのつながりを知り、世界がどうすればよくなるのかを考える消費のしかたが「エシカル消費」です。

「エシカル」という言葉は、英語の「ethical」をカタカナに置きかえたものです。日本語に訳すと「倫理的な」という言葉になります。「良いか／悪いか」、「正しいか／まちがっているか」を考えて、人として「こうすべき」と判断するという意味です。ふだんの買いものが、いつもの暮らし方が、世界につながっています。環境のこと、人や社会、地域、経済のことを考え、ちょっとしたことを変えるだけで、世界で起きている問題の解決につながります。

ふだんの買い物で考えてみましょう。環境にやさしいエコ商品、リサイクル商品、フェアトレード商品<sup>(註)</sup>、障がい者支援の商品、資源保護の認証を受けたラベルのついた商品などを選ぶとします。そうすると、それぞれの商品を作った人や売る人が、こうしたいと考えている社会問題の解決につながります。

買い物だけでなく、商品を大切に長く使うことやリサイクルなどでゴミを減らすことも自然環境の保護につながります。

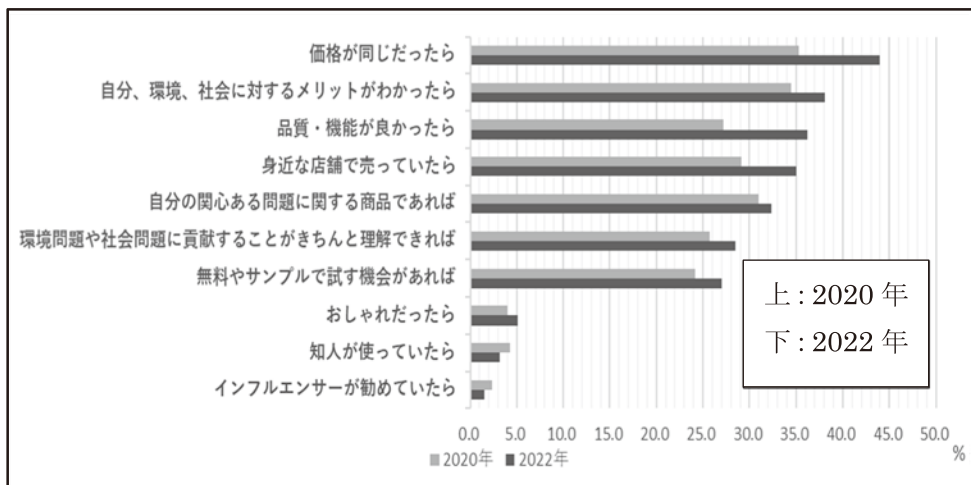
食べるもの、着るもの、使うもの、すべての生産物は、わたしたち消費者が消

費するために作られるものです。ですから、消費者が社会問題のことを考えた消費をすれば、世界を変えることのできる大きな力になります。

(注)「フェアトレード(fair trade)」とは、「公正な貿易、取引」という意味です。ここでは、「開発途上国などの生産者の生活改善と自立を実現させるため、生産者が無理をしなくても、十分に生産できる値段で取引するしくみ」を指します。

〔出典〕山本良一監修、三輪昭子著『身近でできる SDGs エシカル消費 ①エシカル消費ってなに?』さ・え・ら書房、p6~10、p.32 より試験用に一部抜粋・編集

【資料 2】「エシカル消費を実施するために、どのような条件があれば、さらに実施してみたいと思いますか」の質問に対するアンケート調査の結果<sup>(注)</sup>



(注)全国 10~70 代の男女計 2500 名に対して調査をし、前回の調査 (2020 年 11 月) [上の棒線]と今回の調査 (2022 年) [下の棒線]の結果を示している。

〔出典〕電通 調査レポート サステナビリティ(CSR)「エシカル消費 意識調査 2022」より引用、グラフは試験用に作成